Ⅰ　令和3年度　学校経営方針

ⅰ　学校教育目標

「心豊かで、主体的に行動できる生徒の育成」

ⅱ　重点目標

・確かな学力の向上
・豊かな社会性の育成
・学級経営の充実

ⅲ　めざす生徒像、教師像、学校像

○生徒像	○教師像	○学校像
自ら問うて学ぶ生徒 礼儀正しく思いやりのある生徒 心身共に健康で、たくましい生徒	学びあい高めあう教師 思いやりあふれる教師 心身共に健康な教師	活力ある学校 美しい学校 信頼され、期待される学校

ⅳ　指導重点

1主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善による確かな学力の向上

①基礎・基本の定着と学ぶことの楽しさが実感できる授業づくりに努める。
②思考力・表現力を高めるために、生徒が自らの考えを記述する場を設定した授業づくりに努める。
③「見通しと振り返り」「自力解決」「学び合い」等、『甲府スタイル』の授業を行う。
④生徒一人ひとりの良いところを見つけ、個を生かす学習過程の構築に努める。
⑤自主学習ノートの取組等を通して、家庭学習の充実と学習習慣の確立に努める。
⑥学力・学習状況を全教職員で把握し、学力向上のための授業改善に努める。

2自己実現を図る力と思い遣る心を育む生徒支援による豊かな社会性の育成

①「特別な教科　道徳」の趣旨を踏まえた授業づくりに努める。
②JRCの態度目標である「気づき、考え、実行する」のもと、合唱・応援・演劇等の継承と自発的・自治的な生徒会活動を推進する。
③「あゆみノート」等を通した生徒理解を心がけ、集団活動を通して、認め合い学び合う学級をつくる。
④あいさつ運動、朝読書、美化活動等の充実を図り、潤いある学校を目指す。
⑤関係諸機関との連携を図り、生徒一人ひとりの特性に応じた指導の充実を図る。
⑥いじめや不登校の未然防止に重点を置き、早期発見・早期対応に努める。
⑦スマートフォン等の情報端末の使い方やインターネットの危険性についてなど、指導の充実に努める。
⑧保護者の考えを十分考慮すると共に生徒の希望や適性に応じたきめ細かな進路指導に努める。
⑨人権教育の推進を図ると共に、「SOS の出し方に関する教育」についての研究を進める。

3自他を尊重し、命を大切にする健康・安全教育の充実

①基本的生活習慣の確立と生涯を通じて健康で安全な生活を送る実践力を育てる。
②運動やスポーツを積極的に推進し、進んで運動を行い体力の向上に努める。
③ユニバーサルデザインに立脚したインクルーシブ教育の推進に努める。
④適切な指導計画の下、部活動の充実を図り、体力・技能の向上と好ましい人間関係を育成する。
⑤危機管理マニュアルに基づいた、実践的な防災訓練を計画的に実施し、安全管理・危機管理に努める。

4「生きる力」を育む教育課程の編成と実施

①教師と生徒との信頼関係及び生徒相互のより良い人間関係を育てる土台となる、学級・学年集団づくりに取り組む。
②職業調べや職業講話、事前事後指導を含めた職場体験学習を通して、キャリア教育を充実させる。
③特別な支援を必要とする生徒の特性に応じた教育課程を編成し、個に応じた指導と評価に努める。
④教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の適切な確保と行事予定の計画的配置によるバランスのとれた学校運営を行う。
⑤地域や学校の実態、生徒の心身の発達段階や特性などを考慮し、PDCAサイクルの評価による成果と課題を踏まえた教育課程の編成を行う。

5家庭・地域・学区内小学校・関係機関と連携し、信頼される学校づくりの推進

①保護者との連携を深め、PTA活動のさらなる活性化を図る。
②学校・学年・学級通信やHP等を活用し、積極的な情報発信と学校開放を行う。
③合同研究会など南中学区小学校との連携をすすめ、円滑な接続や共通課題の解決を図る。